

■ ニュース & トピックス

■ 本学が日本経済新聞と日経HRが実施した大学イメージ調査

「採用を増やしたい大学」で2位となり、日本経済新聞（6/6）に掲載されました。

記事では、日本経済新聞と日経HRが上場企業と有力非上場企業4750社を対象に行った「大学イメージ調査」の結果をもとに、イメージ調査総合ランキングの他、人事担当者はオールラウンド型の人材を求め、協調性や意欲など人柄を重視していることなどを報じています。この中で「採用を増やしたい大学」で2位となった本学について、「学生セミナーが充実」との声があることや、大学側の取り組みで「就職支援に熱心に取り組んでいる」の項目で3位に付けたことなどが紹介されています。

また、本学が「日経キャリアマガジン 価値ある大学 2019年版」（日経HR 2018年6/6発行）

『Part1 企業人事から見たイメージがよい大学』で上位にランクインしました。

国内有力企業929社に聞いた 大学の人材輩出力 東北工業大学は・・・

- ・総合ランキング 39位
（行動力、対人力、知力・学力、独創性の4側面）
- ・行動力 22位
（熱意、主体性、チャレンジ精神がある、3項目の合算）
- ・就職支援に熱心に取り組んでいる 3位
- ・授業の質の改善に取り組んでいる 3位



■ ～朝食をしっかりと食べてがんばろう～ 100円朝食キャンペーン

学生の健康管理として、食生活面で朝食をしっかりと食べてエネルギー補給し、午前の授業に出席していただくため、本年度も100円朝食キャンペーンを年間4回、長町キャンパス食堂と八木山キャンパス食堂で実施しました。毎回、多くの学生に利用いただき、現在4回目を実施中です。100円朝食の差額分は、大学と後援会で負担させていただいています。



- ・1回目 4月11日～24日
（八木山100食、長町50食）計1,206食
- ・2回目 7月17日～30日
（八木山100食、長町50食）計1,104食
- ・3回目 9月19日～10月3日
（八木山100食、長町50食）計1,176食
- ・4回目 1月15日～28日
（八木山100食、長町50食）実施中



東北工業大学後援会山形県支部
第23号 2019年1月15日

最上川 23



ごあいさつ



「記憶」。私が後援会の会計担当理事を拝命した春、山形県支部幹事会会場は日本有数の豪雪地「肘折温泉」で、初めて参加させて頂きました。会場について、山形県支部幹事の皆さんにお会いしました瞬間、支部幹事で県立工業高校のある先生から、「今日は本部から何をしに来ましたか？今まで通りでしたら、即、連絡して戻って下さい」とのことでした。そこで私は、「皆さんに支部活動の仕事をして頂く為に参りました」との簡単な返答をしたら、参画した各支部幹事の皆様が一瞬姿勢を正しました。そして、後援会支部幹事の皆様方にどんな仕事をして頂くか丁寧に

お話をし、理解と協力をお願いしました。結果、魚が水を得たように目を輝かせて議論が始まった事が今でも鮮明に記憶に残っています。そして、支部幹事の皆さんから一番先に教えて頂いた事3点。1点目、山形県は4地区で構成されている点＝置賜、村山、最上、そして、庄内地区。2点目は、天然の温泉が地区毎に沢山ある点。3点目は、置賜は米沢牛、村山はさくらんぼ、最上は蕎麦街道、庄内はだだ茶豆、それぞれ特徴を持っていると教わりました。そして、幹事会も前向きに参画して頂き、夕食時、そして、懇親会でもいろいろと意見を出して頂いたこと等を参考に、その後、各支部幹事会運営の基盤として活用させて頂き今日があると思っております。

近年、少子高齢化が日本の最大の課題でもあり問題でもあり大変ですが「過去は事実であって変える事は出来ません。その上で前を変える事」が非常に大事で大切です。これからも皆様のご支援、ご指導、ご協力を賜りながら後援会を前に進めて参りたいと心から願っております。

東北工業大学後援会 会長 小泉 昭一

■ 2019年度 後援会支部総会・父母懇談会の日程

1. 期 日：平成31年6月1日（土）
2. 場 所：山形テルサ（山形市双葉町1-2-3）
3. 内 容：①山形県支部総会 ②大学挨拶 ③講演 ④個別面談 の予定
4. その他：詳しくは、4月下旬発行の「後援会だより」をご覧ください。
※ 多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■ 寄稿 「最上川」に寄せて



大学生になって一人暮らしを始めるまで、山形で過ごしました。実家は山形市内といっても中心地からほど遠いところで、高校時代は自転車で通学していました。盆地なので、通学路は平坦な道だったのですが、大学生活を過ごした仙台は、坂が多く、風も強くて自転車で移動するのに苦労したことを覚えています。今では地下鉄も整備され、雪が降っても随分移動しやすくなりました。山形の芋煮会は牛肉・醤油味でしたが、大学生になって、庄内地方や仙台では、豚肉・味噌味であることを知りました。私の研究室では、毎年広瀬川の河原で芋煮会をやっていますが、担当する学生の出身地によって毎年味付けが変わります。インターネットが普及し、全世界の情報を見ることもできますが、実際に現地に行かないと得られない体験もあります。皆様のご子息・ご息女も大学に入学し、今までとは違った体験を得て、たくましく育っていらっしゃることでしょう。私が所属している情報通信工学科では、音声や画像をはじめとした様々な情報や、情報を運ぶ携帯電話やインターネットなどの通信技術を学び、情報通信技術者として社会に貢献できる人材を育成しています。情報通信技術と訳される ICT という言葉も普及し、4K/8K, 5G, IOT, AI など、情報通信技術に関する用語は世の中にあふれています。非常に進化の速度が速い情報通信分野の技術者として、長く活躍してもらうために、学生には技術を学び続ける能力や、問題を解決する能力を修得してほしいと思っています。このような普遍的な能力は、最新の研究を深く実践する大学院において磨かれます。大学院修了の価値は企業も認めていて、学部卒業生に比べ、大学院修了生の初任給は月あたり約3万円高く（厚生労働省：平成29年賃金構造基本統計調査結果）、40歳を過ぎる頃になると大学院修了生の平均年収が学部卒業生に比べ約200万円高くなると試算されています（内閣府経済社会総合研究所：大学院卒の賃金プレミアム）。教育は非常に効率の高い投資です。是非、ご子息・ご息女の進路について、大学院進学も視野に入れていただければ幸いです。

情報通信工学科学科長・教授 工藤 栄亮（山形市出身）

■ 2018年度（平成30年度） 山形県支部活動の報告

5月13日（日）支部幹事会①

・平成30年度の幹事会活動計画、平成29年度会計報告、支部総会、父母懇談会開催について。

6月2日（土）支部総会父母懇談会 <山形テルサ 64家族71名参加>

・総会、講演会、保護者と教員による個別懇談実施、大学での様子、進路などについて。

7月21日（土）支部幹事会②

・支部総会、父母懇談会報告、大学見学会及び地区別懇談会について。
・新規幹事紹介（2名 最上・置賜地区）

10月13日（土）大学見学会、第42回工大祭を見学。<八木山キャンパス 22家族49名参加>

11月10日（土）地区別懇談会 庄内地区で開催。<三川町公民館 3家族4名参加>

11月10日（土）支部幹事会③ ・大学見学会概要報告、・平成31年度活動計画について。

1月15日（火）山形県支部会報『最上川23号』発行。

■ 2018年度 東北工業大学後援会山形県支部役員

◎支 部 長：川崎 修（川西町）

○事務局長：斎藤 俊一（山形市）

○幹 事：酒井原敬士（山形市）、 三澤 桂一（山形市）、 佐々木 稔（鶴岡市）
斎藤 雅博（舟形町）、 加藤 元康（川西町）

■ 地区幹事から ～舟形町のご紹介～

私の住む舟形町は、山形県の東北部、最上郡の南端に位置し、自然豊かで風光明媚な農業を中心とする町です。南北に国道13号線が走る舟形町は、尾花沢新庄道路の舟形インターチェンジもあり、交通の便にも恵まれています。人口は約5,500人、大部分が山地に囲まれた地域であり、町の東から西側にかけて、清流「最上小国川」が流れ、町中央部を流れる最上川へと合流します。夏には、最上小国川で獲れる「松原鮎」と呼ばれる天然鮎を求め、毎年多くの釣り人が訪れます。鮎釣りファンの間では今や全国区の人気河川になりました。毎年天然鮎が遡上し、魚影も濃く鮎釣りの全国大会も行われています。30年度には高校生を対象とした「第1回鮎釣り甲子園大会」（写真①）が開催されました。



①第1回鮎釣り甲子園大会（最上小国川）



②縄文の女神



③舟形若あゆ温泉

町内の西ノ前遺跡より出土した土偶「縄文の女神」（写真②）は、高さ45cmと日本の土偶の中では、一番大きく、更に欠損部がなく完全に復元された学術的にも、造形的にも縄文時代を代表する土偶であり、平成24年には国宝に指定されました。町内では猿羽根山公園内の舟形町歴史民族資料館において、レプリカを見ることができます。また、小高い丘にあり、霊峰月山、葉山まで眺望できる「舟形若あゆ温泉」（写真③）は、美肌の湯として親しまれ、年間15万人以上が利用する日帰り温泉です。宿泊施設のコテージやキャンプ場も人気です。



④マッシュルूमスタンド



⑤エビとブラックオリーブのピザ



⑥ジャンボマッシュルूम

今新たな観光スポットとしてご紹介したいのが、マッシュルूम料理専門店「マッシュルूमスタンド舟形」（写真④）です。「舟形若あゆ温泉」の近くに、29年4月にオープンしました。農場の一角にあり、鮮度の高いマッシュルूमを使ったピザやパスタなどのメニュー（写真⑤）が味わえるだけでなく、食事をオーダーすると生のスライスが食べ放題になります。採れたてが食べられ、サイズの大きな「ジャンボマッシュルूम」（写真⑥）を使ったハンバーガーなど 珍しさもあって評判となり、行列ができるほどの人気店になっています。また、おみやげ用に生のマッシュルूमやオリジナル加工品の販売コーナーがあります。個人的には、とろとろクリーミーなスープがお気に入りです。私自身、町での生活を楽しんでおりますが、町外からも多くの方々が訪れる町になればいいなと思っています。皆様もぜひ一度舟形町に足を運んでみてはいかがでしょうか。

山形支部 最上地区幹事 斎藤雅博